

2023年もよろしくお祈いします！

動きだす、あなたの想いをお結びする市民活動情報誌

おむすび たかしま

謹賀
新年



57

2023
Winter

地域住民の顔が
つながる居場所
をめざして

令和4年度 高島市協働提案事業
小地域協働型住民支援事業
しずさと紡ぐ会 × 高島市市民協働課

高齢化が進む新旭町藁園区
(約500世帯、高齢化率35%)の
住民有志が2020年に「しずさと
紡ぐ会」を設立されました。この
2年間は高島市と協働し、藁園ふ
れあい会館を拠点に、見守りやふれあいの機会
づくりに取り組んでおられます。

事業では毎週火・木曜日の午後1時～3時
を「ふれあいカフェ」として開館。誰でも気楽
に立ち寄り、お茶を飲んだり、お話しできる
100円カフェを開き、木曜日はラジオ体操や脳
トレの時間も作られています。さらに、毎月第
4火曜日には家族を介護しておられる方同士が



みんなで体操！

ホッと一息つきながらお話しできる機会を
つくり、第4土曜日は子どもたちを対象に、
みんなでお昼を食べて遊べる子ども食堂を
開店。そして第4日曜日の午前9時からの
会館清掃日は、掃除後の一服タイムを楽し
みに住民がボランティアで集まるそうです。ほ
かにも、区と連携して夏祭りや秋祭りを開催す
るなど、息の長い活動をめざしておられます。

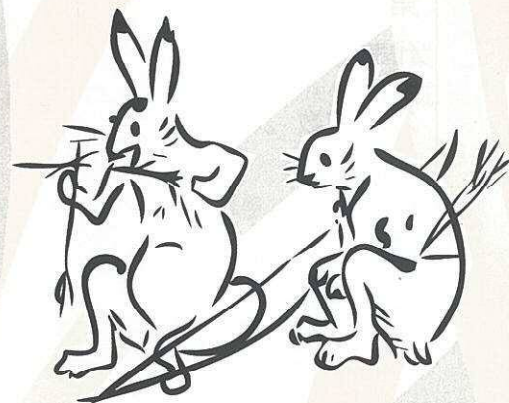


子どもたちで実験タイム！
さあ、どうなるかな？

【お問い合わせ先】

しずさと紡ぐ会
TEL: 090-9696-5082
(会長 山川 博)

高島市役所 市民協働課
TEL: 0740-25-8526



ものづくりの楽しさや「ありがとう」が生きがい

「自助具」とは、身体にハンデのある方の自立した日常生活を助け、介助者の負担を軽減する道具のことです。1989年、県内各地で保健所主催の「自助具」に関する講習会が開催され、その翌年、今津保健所の受講者が「ほほえみ工房」を設立し、ボランティアで自助具の制作を開始されました。

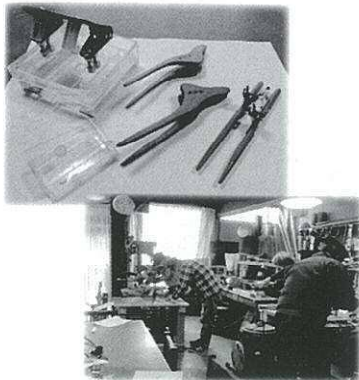
現在は、木工の部と縫製の部でボランティア8名が活動中。大きなものから小さなものまで合わせて年間約100件の依頼に対応しておられます。依頼は作業療法士や理学療法士、訪問看護師など専門職の方が、利用者本人の希望や暮らし方などを理解して相談に來られます。材

料費のみで購入できることや、市販の自助具ではできないきめ細かな調整ができることもあり、利用者の皆さんから喜ばれています。

会長の日置さんは元調理師。ものづくりが大好きなことが高じて参加されました。「本人の希望に応えるものを作りたい」と、みんなで知恵を絞り、アイデアを出し合って作ります。失敗は当たり前。試作して、使い心地をお聞きして、試行錯誤の繰り返し。工夫しながらものづくりができる楽しさと『ありがとう』『よかった』と言われることが生きがいになっています」と、制作された自助具を見せてくださいました。

ものづくりが好きな方、一緒に活動してみませんか？お気軽に工房を訪ねてみてください。

さまざまな自助具があります



活動日は毎月第2・4水曜日の9:30～15:30です

ほほえみ工房

代表 日置 裕
 設立年 1990年
 会員 8名
 連絡先 高島市安曇川町
 末広4丁目15
 TEL: 0740-32-2120

はっけん！きらっと市民活動

in たかしま

高島市で活躍するきらっと輝く市民活動団体をご紹介します。

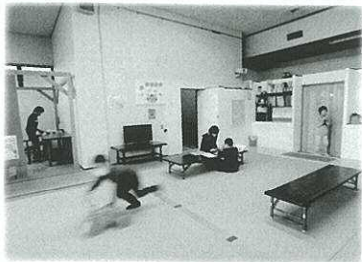
子どもたちや若者の個性を伸ばせる場所をつくりたい

2020年12月、国会で法案が可決され、今年10月に施行された「労働者協同組合法」。労働者が自ら出資し、自ら運営に携わり、そこで働き、収入を得るという「新しい働き方」の一つの形として注目されています。支援学級や養護学校などに通う子どもたちが、放課後と長期休暇中に安心して過ごせる場所を提供する「放課後等デイサービスアップル」は、そうした労働者協同組合の形をとり、組合員が出資し、同時にスタッフとしても関わることで運営されている組織です。

「アップル」の二か所。第一アップルに現在通っている子どもたちは、小学生から高校生までの10名。学校が終わってからのひとときを、自習したり、絵を描いたり、工作をしたり、好きなことをして過ごしています。経験豊富なスタッフの皆さんが、子どもたち一人ひとりの個性に寄り添いながら、彼らが成長していく様子を温かく見守っています。

現在は、二か所の「アップル」では、もつとたくさん子どもたちや若者にこの場所を活用してほしいと考えられています。自習や読書や創作活動など、何かに打ち込みたい人たちにこの建物を居場所として提供できれば、とのこと。そうした場所を必要とする方は、ぜひ一度相談してみてください。

施設はJR近江今津駅の近くにある「第一アップル」と、安曇川駅の近くにある「第二アップル」



子どもたち一人ひとりの個性に合わせ立案した支援計画に沿って療育を行っています。

放課後等デイサービス 第一アップル(今津町) 第二アップル(安曇川町)

代表 村井 直正
 設立年 2010年
 スタッフ数 20名(第一・第二合計)
 連絡先
 第一アップル
 TEL: 0740-22-5820
 080-3866-5821
 第二アップル
 TEL: 0740-28-7111
 090-6662-5823

高島の元気企業

このコーナーでは、地域に根ざした活動や社会貢献活動をしている高島市の企業を紹介しています。

すべての人々が、それぞれ持っている魅力を輝かせたい

企業組合ビュースパイア 代表理事 三科 美保子さん

質の良い食事・運動・睡眠は、私たちが自分らしく生きるために欠かせない要素です。手掛ける事業を通じて私たちにそれらの大切さを伝える企業組合ビュースパイアの三科美保子さんにお話をお聞きました。

かつては大阪でアロマトリートメントの仕事をしていて三科さん。何かと周囲への配慮が求められる都会の店舗。そして次々と訪れる心身共に疲れ果てたお客様。自分のための時間も取れず、自身にも次第に疲労が蓄積して、このままではいけないと思っていたとき、発酵食品を取り入れた食生活で元気を取り戻していくという経験がされました。この経験を他の方にも伝えたいという思いで、郷里の高島で現在の事業を始められました。ビュースパイアという社名には、すべての人たちがそれぞれ持っている本来の魅力を輝かせてほしいという三科さんの願いが込められています。

「私の身体や、心の元気を支えてくれた発酵食品の魅力を、食の大切さを、より多くの人たちに楽しく伝えたい！」

その一心で完成したのが絵本「菌たろう」です。2022年春に完成したこの絵本を携えて、各地に足を延ばし、発酵食品の魅力を子どもたちに楽しく伝える活動を始められました。「絵本に込めた思いが、子どもたちや保護者の方々に伝わってくれば嬉しいです」と三科さん。絵本を読んだお子さんが、好き嫌いをなく食べるようになりました、という声も届くそうです。

現在は、読み聞かせ会や、学校の読書の時間での紹介が中心ですが、いずれは食育の分野にも活動を広げ、地域の内外でさまざまな方とながっていければ、と大きな夢を描かれています。



企業組合ビュースパイア



〒520-1216 滋賀県高島市安曇川町中央3丁目1-16

TEL: 0740-20-5905

Webサイト: <https://beauspir.co.jp/>

たかしま市民協働交流センターでは市民活動に関して、様々な疑問、相談をお受けしています。ここでは、お寄せいただいた質問や相談とその回答についてご紹介します。



「協働」に関する事例の紹介

Q.

企業と市役所などと一緒に、地域のためになる活動をしたいのですが、どんな事例がありますか？

A.

地域のさまざまな課題を解決するために、市民団体、民間企業、自治会、住民自治協議会、商店街組合、行政、学校・大学など、異なる立場の者が対等に、互いの特性を理解し、尊重しながら自主的、自立的に目標に向かうことを「協働」と言います。協働する者間で十分に話し合い、役割分担し、連携することで単独で活動する以上の相乗効果が期待できる方法です。

「協働」の事例には以下のようなものがあります。

・ゴミ減量をめざす行政と食品廃棄の減少と循環をめざす団体が、事業者にも呼びかけ利用できる食品を必要な人につなげる仕組みづくりを実施。

- ・市民団体が守る歴史的建造物を中心に、地元商店街と連携し、通りを歩く人を増やすためのマップづくりやイベントを開催。
- ・広域避難所の運営について地域住民が話し合う機会を持つために、住民自治協議会、区・自治会、市民団体の共催で「避難所運営体験会」を開催。
- ・移住促進をめざす行政と歴史的資源の活用を行う市民団体が、地元の事業者や自治会と連携し、移住したい人を地域につなぐ窓口を設置。
- ・駅前の賑わいづくりをめざす民間事業者と住民自治協議会が連携し、イルミネーションを設置。
- ・中学校と住民自治協議会が連携し、地域の民間事業者の協力を得て、通りのゴミ拾い活動と中学生と地域で働く大人の交流の機会を作る。

「協働」について、たかしま市民協働交流センターでは相談対応やコーディネートもしています。お気軽にご相談ください。

◎市民活動についての疑問、相談などお寄せください！



第4期 高島市まちづくり推進会議 活動経過報告

「たかしまお役立ち情報」



waccaで
交流会を開催

「高島市まちづくり推進会議」は、市民の関心や行政が直面している課題の中から具体的なテーマを設定し、市民委員が行政職員や研究者と議論を交わしながら、市民協働のさまざまな可能性を検討する取り組みです。



「たかしまお役立ち情報」は、高島市にお住まいの誰もが地域とつながりながら暮らせる街になるようにとの願いを込めて作られたものです。紹介されているのは

地域の中の居場所やサロン、ボランティアグループ、出張・配達の実施している店舗や事業者の情報など、暮らしを支える情報が満載です。この冊子は、市内の公民館、医療機関などでお読みいただけます。個人で入手したい場合は、高島市のホームページからPDFファイルをダウンロードしていただくか、たかしま市民協働交流センターまでお問い合わせください。



QRコードを読み取ると冊子の内容をご覧いただけます



会議の様子

<テーマ>

- ・「資源の再確認と活用」
地場産業である高島ちぢみの活用について検討中
- ・「世代を越えた人のつながりを地域でつくる」
多様な世代と市民活動団体のつながりについて検討中

これから市民活動に取り組みたい方もサポートします！



「これから、何らかの形で地域の課題に取り組んでみたい」「活動を続けてきたが、助成金やクラウドファンディングを活用して新しい展開を考えたい」「いろいろな世代からメンバーを募ってみたい」等々…。

たかしま市民協働交流センターでは、現在市民活動やボランティア活動をしている方だけでなく、これから何か始めてみたいといった方の支援も行っています。立場や世代や地域の境目を越えて、「やってみようかな！」そう思った時がはじめどき。はじめの一步を踏み出して、新しい自分に出会ってみませんか？

お気軽にご相談ください。

この2年間の取組みの成果報告会を、3月25日(予定)に今津東コミュニティセンターで開催する予定です。詳しくは、たかしま市民協働交流センターまでお問い合わせください。



開催御礼



2022年12月4日(日)、今津東コミュニティセンターで「ちょこっとバザー2022」を無事開催することができました。14の団体・グループにご参加いただき、約300名の来場者をお迎えすることができました。誠にありがとうございました。

たかしま市民協働交流センター

編集後記

中東・カタールで開催されたサッカーW杯。日本代表がまさかのグループリーグ「首位」通過で決勝トーナメント進出とは、いったい誰が想像していたでしょうか。しかし、今回の結果は決して偶然の産物ではなく、何年もかけて選手やスタッフの皆さんが積み重ねられてきた努力の賜物です。私たちも彼らのように日々の努力を重ねて、高島の地で新しい景色を作っていきたいと思えます。2023年もどうかよろしくお願いたします。(K)

発行：たかしま市民協働交流センター

(委託運営：NPO法人コミュニティねっとわーく高島)

〒520-1622 高島市今津町中沼1丁目4-1
(今津東コミュニティセンター内)

TEL: 0740-20-5758 FAX: 0740-20-5757

E-mail : webmaster@tkkc.takashima-shiga.jp

ホームページ : http://tkkc.takashima-shiga.jp/

ブログ : https://tkkc.shiga-saku.net/

Facebook : https://www.facebook.com/takashimashiminkyodo/

<メルマガが会員募集！市民活動情報をお届けします>



ホームページ

この部分に、広告を載せてみませんか？

詳しくは、たかしま市民協働交流センターまで